

令和4年11月11日

西伊豆町長 星 野 淨 晋 様

西伊豆町立文教施設等整備委員会
委員長 高 井



答 申 書

令和4年9月27日付、西教学第231号により諮問のありました、「町として、統合認定こども園及び西伊豆町立小中一貫校の建設地を仁科の先川地区とする方針」について、審議した結果を下記のとおり答申いたします。

記

1 西伊豆町立文教施設等整備委員会 諮問

(1) 諮問の主旨

町として、統合認定こども園及び西伊豆町立小中一貫校の建設地を仁科の先川地区とする方針について

(2) 主旨の理由

統合認定こども園及び西伊豆町立小中一貫校の建設地について、仁科の先川地区での建設を推進するため、地質調査業務を行いました。その調査結果から先川地区での建設が可能であると判断しました。また、他の候補地も十分に検討しましたが防災面など総合的に判断し、先川地区での建設を進める方針としましたので、ご答申をいただきますよう諮問いたします。

2 西伊豆町立文教施設等整備委員会 答申

(1) 答申

統合認定こども園及び西伊豆町立小中一貫校の建設地を仁科の先川地区とすることについて、町の方針は妥当であると考えます。

(2) 理由

先川地区の建設候補地は、地質調査の結果から、園・学校の建設について問題ないと判断され、またその大部分は津波浸水想定区域外にあり、土砂災害や洪水等における危険性においても、他の地区と比べ安全であると判断されたことに対して多くの委員の理解が得られました。さらに通学時間や学校の体験活動等を含め、総合的に判断すると、建設地を仁科の先川地区とすることは妥当であると考えます。

(3) 補足

委員会の協議において、安全性の高い先川地区に建てられる西伊豆町立小中一貫校は、仁科地区の防災拠点として地域住民の有益な施設になることも意見として出されました。さらに先川地区周辺には病院や消防署があり、緊急時早急に対応できることが予想されるので保護者の安心感が一層増すと思われます。また、一貫校の事業費も町の財政シミュレーションにおいて大きな問題とはならないと理解することができ、上記の結論に至りました。

しかしながら、多くの委員から町当局の説明不足の感が見受けられるため、今後町民の方々に対して説明会を開催し、丁寧でわかりやすい説明を通して、町の方針や計画を十分理解していただくことが必要であるという旨の意見が出されましたので、要望として申し添えます。加えて、計画の早期実施の声や地下水・治水・周辺農業者への影響を心配する声に耳を傾け、適切に対応することを願います。